

大阪府 泉佐野市（森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施）

- ▶ 泉佐野市では、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、将来経営が成り立つ森林に育てるため保育間伐を行っている。
- ▶ 令和3年度においては、森林経営管理法に基づく私有林人工林の森林地番参考図作成、意向調査に行った。
- ▶ 同時に落枝、倒木により危険性の高い森林の整備を行った0.017ha。

□ 事業内容

1 森林経営管理法にも続く意向調査

- 令和2年度に実施した森林区分業により策定した整備優先順位に基づき、2林班の森林地番参考図を作成、1林班の意向調査を実施。令和4年度から保育間伐を目的とした整備を行う。
- 【事業費】4,476千円（全額譲与税）
【実績】地番参考図作成 108ha
意向調査 50ha（99筆、33名）

2 危険森林整備

• コンクリート法面上部に生い茂った手入れの行き届いていない樹木が、下方の住宅への、落枝及び倒木による落下の危険を防ぐため、択伐による森林整備を行った。

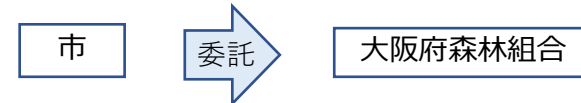
【事業費】6,600千円（全額譲与税）

【実績】0.017ha 材積 12.14m³



□ 事業スキーム

1 森林経営管理法に基づく意向調査の実施



2 危険森林整備の実施



□ 工夫・留意した点

1 森林経営管理法に基づく意向調査の実施

- 森林地番参考図作成と意向調査を一体契約をした。

2 危険森林整備の実施

- 毎木調査による伐採樹木の選定

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	10,213千円
②私有林人工林面積（※1）	875ha
③林野率（※2）	35.3%
④人口（※3）	100,131人
⑤林業就業者数（※4）	4人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より、

※4：「R2年国勢調査」より